

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

平成29年11月6日発行

No.8

藤華祭の学びは「終わらない」

藤華祭特別委員会委員長 3年B組 菅野晴菜

第6回藤華祭からもう1か月以上が経ちました。しかし、藤華祭の思い出はまだ私たちの中に強く残っています。さて、第6回藤華祭のテーマは「結」でした。このテーマには、4つのつながりを大切にしようという意味が込められていました。4つのつながりとは、それまでの学校生活と藤華祭とのつながり、附中生の中での縦横のつながり、参会者の方とのつながり、そして藤華祭での学びとその後の学校生活のつながりのことです。このテーマの通り、今年の第6回藤華祭ではたくさんのつながりが生まれたと思います。

まず、準備期間。学校内を歩くどの人も一生懸命に自分の活動に取り組んでいました。みんな目がキラキラしていて、心の底から楽しんでいること、そしてどうすれば参会者の方に喜んでもらえるか、感動してもらえるかというのを真剣に考えていることが伝わってきました。準備の時から、全員の思いが繋がって、一体となって藤華祭へと向かっているのがわかりました。

そして、当日。たとえば装飾PJなら、結という言葉から連想できる蝶やリボンを使った飾り付け。ステージPJなら登場人物が結ばれたり、見る人と一体になれたりするようなステージという風に、PJなりに考えた結とのつながりを参会者の方に向けて発信しました。また、参加型企画や展示などを通して参会者の方々とのつながりも生むことができました。そして、藤華祭に参加したすべての方に感動をお届けすることができたと思います。

もちろん、最初から完璧だったわけではありませんでした。予定通りいかなかったり、計画にミスがあったり…うまくいかない、どうしようと思うことが、どのPJにもあったと思います。私も、総務の活動の中でそんなことが何度もありましたし、自分の抜けているところもたくさん気づかされました。しかし、それを乗り越えようとする中で多くのことを学びました。その学びは、綿密に計画を立てる計画性、自分の役割に対する責任感、さらには人に感動を与えるという答えのない課題に自分なりの答えを導き出す発想力など本当に様々です。

そして、これらの学びをこれからの生活につなげていくこと…それもまた「結」だと思います。そう考えると藤華祭の学びはまだ終わっていません。だから、第6回藤華祭で学んだことを心にこめ、これからの学校生活を送っていこうと思います。

最後に、私たちが無事に藤華祭を終えることができたのは、先生方、保護者の皆様が支えてくださったおかげです。本当にありがとうございました。



藤華祭特別委員長の菅野さんのお話にもありましたように、「それまでの学校生活と藤華祭とのつながり」「附中生の中での縦横のつながり」「参会者の方とのつながり」「藤華祭での学びとその後の学校生活のつながり」という“4つのつながり”を意識した第6回藤華祭は成功裏に終わりました。『結』という明確なテーマを掲げ、それに基づきながら、プロジェクトごとに創意工夫をこらして表現する生徒たちの姿が印象深く残っています。このように、仲間と協力し、築き上げた新たな附中の文化は、次年度へとつながることでしょう。これも保護者の皆様をはじめ、多くの方々の支えがあってこそだと考えています。藤華祭に関わっていただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。



【各PJからの発表の様子】

なお、今年度は事前の演劇指導に際し、現在、北海道四季劇場で上演中のミュージカル『ライオンキング』に出演中の劇団四季俳優の皆様にご来校いただき、直接指導をいただく機会がございました。大舞台上で活躍されている俳優の皆様を目の前にした生徒たちは、当初、緊張した面持ちでしたが、温かい言葉かけをしていただくことで、次第にのびのびと稽古に励み、演技に磨きがかかる様子が見えられました。「本物にふれることの素晴らしさ」を実感した瞬間でもありました。

最後に、ステージBプロジェクトの吉田美菜さんが、劇団四季の皆様宛てたお礼の文書を紹介します。

先日は、お忙しい中、私たちのために貴重な時間をつくってください、ありがとうございました。プロである皆様の、舞台に対する強い想いを実感することができ、私たちにとってよい刺激となりました。そして本番は、見ている人たちから大きな拍手をいただき、最高の舞台を創り上げることができました。

一言アドバイスをいただけるだけでもうれしいことであるのに、演技やダンス、歌に対する指導から発声練習について、びっしりと丁寧に温かく教えてくださりました。おかげでプロジェクト一人一人の可能性が大きく広がったように感じます。

また、皆様がおっしゃっていたことの中で、「お客様のことを大切に考えながら演技する」という言葉が印象に残っています。今までの自分たちは自己満足で進めてしまっていた部分がありましたが、お客様に伝わる声の大きさなどを意識しながらできるようになりました。

短い時間でしたが、たくさんのお話を学ばせていただきました。今回得たことを、来年、再来年へと伝えていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



【劇団四季の俳優の皆様と記念撮影】



【ご指導いただいた一場面】

第6回合唱祭を終えて

10月31日(火)、本校体育館にて第6回合唱祭が行われました。各学級とも、約1か月間、指揮者、伴奏者、各パートリーダーが中心となり、丁寧な練習を積み重ねながら本番を迎えました。

「爽やかな歌声を奏でた1年生」「チームワークのよさが光ったD組」「昨年の成果と課題を存分に生かした2年生」「貫禄のある伸びやかな歌声を響かせた3年生」と各々特徴ある演奏が印象に残っています。ここまでたどり着くには、相当の苦勞、そして努力があったことが想像されます。しかしながら、練習を重ねるうちにそれらを乗り越え、“その学級にしか創ることのできない歌”を完成させるに至りました。縁ある仲間とともに歌を通して築いた絆を、残り5か月の学校生活に活かしてくれると信じています。

保護者の皆様におかれましては、多数ご参会いただき、ありがとうございました。また、朝練習への参加などに際し、多くのご配慮いただきましたことを、改めて感謝申し上げます。



【大賞を受賞した3年C組の合唱「虹」】

全附P連PTA研修会参加報告

9月末に、東京にて全附P連の研修会が行われ、本校から代表して役員8名と担当教員2名が参加しました。PTA副会長の小西様より、報告文をご寄稿いただきましたので、ここでご紹介いたします。

PTA 副会長 小西 律子

去る9月29日～30日、全附P連PTA研修会第8回全国大会(東京にて)に参加させていただきました。本大会は、「子どもたちとこの国の未来のために～附属学校の果たすべき役割とは～」を開催スローガンに、沖縄から北海道まで207校園860名の全国国立大学附属学校の保護者および教職員・教育後援会関係者が集まり交流しました。

オープニングセミナーでは、附属学校とPTAが地域のモデルとなるべく役割を担っている責任を改めて考えました。基調講演で取り上げられた、いじめ問題を主題とし、その背景にある時代の急速な流れに伴う環境として情報・ネット・子ども社会や大人の関わり方、また、心身の健康へのアプローチの仕方や、個性を宝物とすべく大人の役目について等、3つの分科会に分かれ他校と活発な話し合いが行われました。

本校でも学級懇談時に、携帯やスマートフォンの使い方について話題となり、意見交換をしたこともありましたが、私たち保護者にとって共通の心配事と思います。家の電話をかける際は相手先を思い、時間にも気遣いをされているのではないのでしょうか。分科会で講師の先生からこのような質問がありました。「『夜遅い時間』とは何時ですか？」一斉に声を出して各々答えます。「9時！」「10時！」「12時！」皆様は何時とお答えになるのでしょうか。家族・学級や学年・学校で話し合い、スマートフォン使用にあたり、みんなでルール作りをしてみてもいいのかもしれませんが。現在、小学生のスマートフォン所持率が5割という時代になったそうです。もはや、いつから持たせるかだけでなく、一つのツールとしての「ルール決め」が重要であり、モラル(道徳心)やマナー、そして、万が一の際の相談できる環境があることを十分話し合うことが必要ということです。時代が変わろうとも、日頃から家族・学校・友人と十分なコミュニケーションをとっていくことが不可欠であり、大人も一緒に学び、ルールを守り、子どもと共に良き環境を作る必要性を感じました。

最後に本講演、シンクロナイズドスイミング日本代表コーチ 井村雅代氏のお言葉をご紹介します。オリンピック選手は天才なのでなく、オリンピックに出たいと強く願った集団。日々、1ミリずつの進化する目標をたて、できた時の達成感を本人が感じる。叱るときは、ネチネチせず、その場で。ダメなものはダメ。直す方法を伝え、できた時、それでいいよ、それをやり続けなさいと伝えること。子どもには、選ぶ力をつけてあげること。そして、東京オリンピックを成功させるために、是非子どもたちには、何かの役割をもって参加させてほしいと強調されてました。画面を通して叱っている姿が印象に残りがちですが、できた時には褒め、シンクロを通して良き人間を作ることに生きがいを感じておられる愛情に溢れた井村氏のご講演に多くの参会者の目には涙がありました。

私たちも愛情をもって子どもたちと共に1ミリずつ成長できるPTA活動を、多くの皆様と一緒に活動してまいりたいと思いました。今後とも皆様のお力添えのほどよろしくお願いいたします。



【会場にて参会者による記念撮影】

FUZOKU SAPPORO Information

■10月より、国語科講師として細木慎太(ほそき しんた)先生が、11月より社会科講師として西澤英剛(にしざわ ひでたか)先生が、それぞれ着任いたしました。

細木慎太先生（国語科）

現在、教育大学附属中学校隣の教育大学大学院に通っております。日々学んだこと、考えたことを授業に取り入れ、楽しく動きある授業を心がけていきます。

私事ですが、昨年8月から今年の8月までの1年間、中国の山東省という場所に語学、書の学習として留学をしておりました。附属に着任して1か月が経過しましたが、留学生やJICA等、海外の方との関わりが多いことに驚いております。そこで、私の留学で学んできたことが国語だけではなく、日々の中で留学で見聞きしてきたことを伝え、様々な国へ関心をもつ後押しができるのではないかと考えています。

附属中学校の豊かな環境の中で、附属の子供たちの豊かな想像力と発言を活かせるよう私のモットーであります「明るく楽しく」を心がけて授業に努めていたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

西澤英剛先生（社会科）

11月から附属札幌中学校に着任させていただくことになり本当に嬉しく思っております。昨年度も社会科の講師として、現2年生と現3年生の社会科を担当させていただいておりました。この度はご縁があり、大好きな附属札幌中学校に再度着任できたこと心より感謝しております。

昨年度所属していただいた現3年生とは思い出が多く、離任するときは盛大に送り出していたで、「これからのみんなに期待しているよ、がんばってね、先生もがんばるから！！」と言ってこの子達の卒業式まで一緒にいたいと心残りがありました。今回、3年生をまた見守ることができること、さらには、2年生と再び共に学び合えること、そして、1年生と初めて学び合えることがとても楽しみです。

最後になりましたが、生徒たちが一歩でも成長していくために尽力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

■先月17日より約1週間、カナダのカルガリー大学より、2名の留学生の短期研修の受け入れを行いました。また、先月23日には、JICA研修として16名の外国人研修生が来校しました。短い時間ではありましたが、生徒も研修生も、交流の時間を楽しむ様子が見られました。



【留学生と行った英語の授業】



【理科の実験に参加する研修生】



【2学年と研修生との交流】

諸活動の結果・表彰

<バドミントン部>

長谷楓香さん(2A) 女子シングルス

- ・中体連 北区北部地区大会：準優勝
全市大会：第3位
全道大会(札幌市にて開催)：ベスト16

- ・新人戦 北区北部地区大会：優勝
全市大会：準優勝

<ソフトテニス部>

- ・新人戦 北区大会：第2学年女子の部 第3位 伊藤凧沙さん 黒田仁胡さん(2C)

<放送局>

- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト札幌地区大会
アナウンス部門：優良賞 丸山葵さん(3C)
ラジオ番組部門：優良賞『附属札幌中学校の魅力と特徴』
伊藤初音さん 丸山葵さん(3C) 北村悠葵さん(3B)

<国語科>

- ・国際理解・国際協力のための作文コンテスト
道内コンテスト：特賞(日本国際連合協会北海道本部長賞) 荻野真緒さん(1C)
金賞：水内ゆめさん(2C)

全国コンテスト：特賞(外務大臣賞) 荻野真緒さん(1C)
- ・札幌市平和へのメッセージ
入選：伊藤初音さん(3C)

<理科・数学科>

- ・科学の甲子園ジュニア北海道大会
数学部門：第2位 新谷桜子さん 帯金花帆さん 二階堂萌子さん(2B)
(大会出場) 原井敏登くん 木戸大志くん 柿山星詩流くん(1A)

<社会科>

- ・札幌市児童生徒社会研究作品展
特選：服部了太くん 横田蒼宗くん(2A) 佐竹柊哉くん(2B) 尾崎綸保さん(2C)

※各分野での活躍、おめでとうございます！次号以降でもご紹介いたします。

11月の行事予定

日（曜日）	行事等の予定	最終下校バス時刻（予定）
1（水）	教職大学院実習（後期）開始	16:50
2（木）	委員会・専門局会 テスト範囲発表（後期中間）	16:50
3（金）	文化の日 ※部活動可	
4（土）	※部活動可	
5（日）	※部活動可	
6（月）		16:50
7（火）		16:50
8（水）	昼清掃、研究日	16:05
9（木）	3年学力テストC、職員会議	16:50
10（金）	1年総合FW	16:50
11（土）	★2年生のみ登校 2年総合「働くことを語る会」※部活動不可	麻生 12:10 栄町 12:10（路線）
12（日）	※部活動不可	
13（月）	職員室入室禁止・諸活動停止	16:30
14（火）		16:30
15（水）	中学校美術・書道作品展（市民ギャラリー）	16:30
16（木）	後期中間テスト（国・数・社・理・英）	16:50
17（金）	ふじのめ学級研究大会（家庭学習日）	
18（土）	※部活動可	
19（日）	※部活動可	
20（月）		16:50
21（火）	3年総合「在校生との交流会」、研究日 ※3時間給食	16:10
22（水）	委員会・専門局会、職員会議	15:20
23（木）	勤労感謝の日 ※部活動不可	
24（金）		16:50
25（土）	★3年生のみ登校 3年総合「保護者等との討論会」※部活動不可	麻生 13:35 栄町 13:35（路線）
26（日）	※部活動可	
27（月）		16:50
28（火）	3年進路写真撮影	16:50
29（水）	昼清掃	16:50
30（木）	学年懇談会（午後）、昼清掃、 教職大学院実習終了	14:10